

第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会  
群馬県準備委員会  
総務企画専門委員会 委員

(敬称略)

No.	分野	所属	役職	氏名	備考
1	学識 経験者	国立大学法人 群馬大学 社会情報学部	准教授	小竹 裕人	委員長
2	市町村	群馬県市長会	事務局長	春山 裕	
3		群馬県町村会	事務局長	梅村 透	
4	スポーツ	公益財団法人 群馬県スポーツ協会	事務局長	木村 雅治	副委員長
5		一般社団法人 群馬県障害者スポーツ協会	事務局長	荻野 誠	
6	教育	群馬県中学校長会	書記	飯塚 敏雄	
7		群馬県高等学校長協会	副会長	加藤 聡	
8	経済	一般社団法人 群馬県商工会議所連合会	専務理事	大矢 一	
9		群馬県商工会連合会	専務理事	千代 清志	
10	県	群馬県健康福祉部障害政策課	課長	小林 啓一	
11		群馬県教育委員会事務局健康体育課	課長	小林 信二	

# 第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会 群馬県準備委員会 第2回総務企画専門委員会 次第

日 時：平成31年3月25日（月）14:00～

場 所：群馬県庁 29階 293会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 報告事項

- (1) 第83回国民体育大会及び第28回全国障害者スポーツ大会の開催準備経過等について
- (2) 公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会委員会における決定事項について

## 4 協議事項

- (1) 第83回国民体育大会  
競技会場地市町村の選定候補について
- (2) 第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会  
開催準備総合計画（素案）について
- (3) 第83回国民体育大会  
県及び会場地市町村の業務分担・経費負担の細目について
- (4) 第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会  
開催基本構想の策定の進め方及び構成（素案）について

## 5 そ の 他

## 6 閉 会

## 第83回国民体育大会及び第28回全国障害者スポーツ大会 準備経過

期 日	内 容
H28. 6.29	公益財団法人群馬県スポーツ協会が第83回(平成40年)国民体育大会招致要望書を知事、県議会議長及び県教育長に提出
H28. 8月～	県が全市町村を訪問し、本県における2巡目国体の開催について説明、協力を依頼
H29. 1.23	市長会、町村会をはじめ、県内外の多様な分野の方々による「群馬県国体検討懇話会」が、本県で国体を開催する意義や方向性等をまとめた報告書を知事に提出
H29. 2.20	群馬県議会の平成29年第1回定例会において、知事が第83回国民体育大会及び第28回全国障害者スポーツ大会を本県で開催する意向を表明
H29. 3. 9	群馬県議会の平成29年第1回定例会において、「第83回国民体育大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
H29. 3.21	平成29年3月教育委員会会議定例会において、県教育委員会が第83回(平成40年)国民体育大会の招致を決定
H29. 5.24	知事、県教育長、(公財)県スポーツ協会会長が、文部科学省(スポーツ庁)及び公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出
H29. 7.18	(公財)日本体育協会が群馬県を第83回国民体育大会の開催申請書提出県として了解(内々定) ※第28回全国障害者スポーツ大会も同様の取扱いとなる。
H30. 3.20	第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
H30. 8. 7	第1回総務企画専門委員会及び第1回施設整備専門委員会を開催
H30. 8. 9	平成30年度市町村連絡会議及び平成30年度競技団体連絡会議を開催
H30. 8～10月	市町村競技会開催意向調査及び競技団体競技会意向調査を実施
H30.10～12月	第83回国民体育大会会場地市町村選定に係るヒヤリングを実施 (市町村・競技団体)
H31. 3.19	第2回施設整備専門委員会を開催
H31. 3.25	第2回総務企画専門委員会を開催

総務企画専門委員会の主な審議事項のスケジュール(案)

年度		開催手続	総務企画専門委員会		施設整備
			全体	会場地選定	
2017年	11年前	開催の内々定 (H29.7.18) 県準備委員会設立設立			
2018年	10年前			会場地選定の進め方について 競技施設基準(暫定版)の策定	・県立施設 方向性検討
2019年	9年前		開催基本 構想策定	会場地の選定 (国体 正式競技・特別競技) (全スポ 個人競技・団体競技) 総合開・閉会式会場の選定	
2020年	8年前	国体「正式競技」の決定	県及び 会場地市町村 の業務分担 ・経費負担 細目		・整備実施(県立施設、 市町村立施設等)
2021年	7年前			会場の選定 (国体 公開競技)	
2022年	6年前	中央競技団体 正規視察		会場の選定 (国体 デモンストレーション スポーツ) (全スポ オープン競技)	
2023年	5年前	国体「公開競技」の決定 開催申請書 の提出 開催の内定 全スポ「実施競技」の決定			
2024年	4年前		文化プログラム基本方針		
2025年	3年前	国体「デモンストレーション スポーツ」の決定 全スポ「オープン競技」の決 会場地総合視察 (日ス協・文科省) 開催の決定	総合案内基本方針 行幸啓計画・警備計画		
2026年	2年前				
2027年	1年前				
2028年	開催年				第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会開催

# 公益財団法人日本スポーツ協会 国民体育大会委員会における決定事項について

平成 30 年度の公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会委員会における決定事項の主なものは以下のとおり。

## 1 国民体育大会の名称変更について

(改正内容決定:H30.6.14 第 1 回委員会、要項改正:H30.8.30 第2回委員会)

	変更前	変更後
大会名称	「国民体育大会」	「国民スポーツ大会」 ※スポーツ基本法の一部改正による
英語表記	「NATIONAL SPORTS FESTIVAL」	「JAPAN GAMES」
略 称	「国体(こくたい)」	「国スポ(こくすぽ)」
そ の 他		※回数:昭和 21 年(1946 年)開催の第 1 回大会からの回数を継続(通算回数) ※適用大会(年):平成 35 年(2023 年)開催の第 78 回大会(冬期:未定、本大会:佐賀県)から適用

※2028 年の大会については、「第 83 回国民スポーツ大会」となる。

## 2 第 78 回以降実施予定の「国民体育大会における 2020 年オリンピック対策・実行計画」対象種目の取扱いについて

○2014 年 6 月に決定された「国民体育大会における 2020 年オリンピック対策・実行計画」に基づき、2016 年第 71 回大会(岩手県)から 2022 年第 77 回大会(栃木県)までの間、正式競技として段階的に導入されている8競技9種目について、2023 年第 78 回大会(佐賀県)以降も実施することが決定された。(H30.6.14 第 1 回委員会)

○各競技の参加人員(監督・選手)については、同計画導入以前(2015 年第 70 回大会(和歌山県)時)と第 76 回大会における増加人員数分の 10%増の範囲内で調整。(H31.3.1 第4回委員会)

※一部競技については現在調整中。

### ・対象競技・種目・種別

競技	種目	種別
水泳	水球	女子(成年少年共通)
	オープンウォーター スミシング	男子(成年少年共通)
		女子(成年少年共通)
ボクシング		成年女子
バレーボール	ビーチバレー ボール	少年男子
		少年女子
体操	トランポリン	男子(成年少年共通)
		女子(成年少年共通)
レスリング		女子(成年少年共通)
ウェイトリフティング		女子(成年少年共通)
自転車	トラック・ロード	女子(成年少年共通)
ラグビーフットボール	7人制	女子(成年少年共通)

### ・実施規模

競技	参加人員規模(人)			
	70 回	76 回	(76-70)	78 回~
水泳	1,584	1,869	(285)	1,612 以内 +28 以内
ボクシング	311	343	(32)	314 +3
バレーボール	1,040	1,322	(282)	1,068 +28
体操	654	725	(71)	661 以内 +7 以内
レスリング	705	799	(94)	705 ±0
ウェイトリフティング	351	411	(60)	357 +6
自転車	517	658	(141)	517 ±0
ラグビーフットボール	536	712	(176)	552 +17

### 3 競技種別等の変更

(1) バレーボール競技における種別の変更(H30.6.14 第1回委員会)

変更前	変更後
【ビーチバレーボール】 男子(成年少年共通)・女子(成年少年共通)	【ビーチバレーボール】 少年男子・少年女子

○第74回国民体育大会(茨城県)から変更

(2) レスリング競技における国民体育大会施設基準の変更(H30.8.30 第2回委員会)

【変更前】

基準	摘要
規定のマット4面を設置することが出来る体育館1	2会場に分かれてもよい。

【変更後】

基準	摘要
規定のマット4面を設置することが出来る体育館1	(削除)

○第74回国民体育大会(茨城県)から変更

(3) サッカー競技における種別変更(H30.8.30 第2回委員会)

【導入大会】

年	回	開催地	実施種別				
			成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	女子共通
2018	第73回	福井県	○	/	○	/	○
2019	第74回	茨城県	○		○		○
2020	第75回	鹿児島県	○		○		○
2021	第76回	三重県	○		○		○
2022	第77回	栃木県	○	—	○	○	/
2023	第78回	佐賀県	—	○	○	○	
2024	第79回	滋賀県	○	—	○	○	
2025	第80回	青森県	—	○	○	○	
2026	第81回	宮崎県	○	—	○	○	

【実施規模】

<変更前>

種別	チーム数	監督	選手	合計
成年男子	16	1	15	256
少年男子	24	1	16	408
女子	16	1	15	256
合計	56			920

<変更後>

種別	チーム数	監督	選手	合計
成年男女 (隔年で実施)	16	1	15	256
少年男子	24	1	16	408
少年女子	16	1	15	256
合計	56			920

※現行の920名の参加人員数の範囲内で調整するため、選手数を「15名」とする。  
※少年女子の対象年齢域は、少年男子同様、U-16とする。

4 国民体育大会の開催実績及び今後の開催予定

◆平成12年(第55回大会)以降の冬季大会開催都道府県

H31.3.1

大会		本大会	冬季大会		
年	回		スキー	スケート	アイスホッケー
2000(H12)	55	富山	富山★	青森	
2001(H13)	56	宮城	長野	山梨	
2002(H14)	57	高知	新潟	北海道	
2003(H15)	58	静岡	北海道	群馬	
2004(H16)	59	埼玉	山形	青森	
2005(H17)	60	岡山	岩手	山梨	東京
2006(H18)	61	兵庫	群馬	北海道	
2007(H19)	62	秋田	秋田★	群馬	
2008(H20)	63	大分	長野		
2009(H21)	64	新潟	新潟★	青森	
2010(H22)	65	千葉	北海道		
2011(H23)	66	山口	秋田	青森	
2012(H24)	67	岐阜	岐阜★	(ス)岐阜★ (シ・フ)愛知	愛知
2013(H25)	68	東京	秋田	東京★(ス福島)	
2014(H26)	69	長崎	山形	栃木	
2015(H27)	70	和歌山	群馬		
2016(H28)	71	岩手	岩手★		
2017(H29)	72	愛媛	長野		
2018(H30)	73	福井	新潟	山梨	神奈川
2019(H31)	74	茨城	北海道		
2020	75	鹿児島	富山	青森	
2021	76	三重(決定)	秋田	ス・岐阜 シ・フ・愛知	愛知
2022	77	栃木	(未定)	栃木	
2023	78	佐賀(内定)	(未定)		
2024	79	滋賀	(未定)		
2025	80	青森	(未定)		
2026	81	宮崎	(未定)		
2027	82	長野	長野		
2028	83	群馬	(未定)		
2029	84	鳥根	(未定)		
2030	85	(未定)	(未定)		
2031	86	(未定)	(未定)		
2032	87	(未定)	(未定)		
2033	88	鳥取	(未定)		

【注】①★印の都道府県は、国体本大会(夏秋季大会)と冬季大会を併せて開催。

②スケート競技会の(ス)はスピード種目を、(シ)はショートトラック種目を、(フ)はフィギュアスケート種目を表す。

## 第 83 回国民体育大会・第 28 回全国障害者スポーツ大会 「開催準備総合計画」の策定について

### 1. 策定の目的

両大会の開催準備における、主な方針や計画並びに準備行為等の予定概要をまとめ、準備を計画的に進める。

※進捗状況を踏まえ、追加、修正等を行う。

### 2. 策定の流れ

- ・総務企画専門委員会・・・審議・承認
- ・常任委員会・・・審議・決定
- ・総会・・・報告

### 3. 策定スケジュール（予定）

期 日	会 議 等	内 容
H31. 3. 25	第 2 回総務企画専門委員会	素案説明、意見交換
6 月～	第 3 回総務企画専門委員会	計画（案）の審議・承認
	第 2 回常任委員会	計画（案）の審議・決定
	第 2 回総会	報告



第 8 3 回国民体育大会・第 2 8 回全国障害者スポーツ大会 開催準備総合計画（素案）

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	
逆年	11年前	10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	
大規模大会等				オリンピック・パラリンピック(東京) 全国高校総体(群馬県幹事県)			※「国民スポーツ大会」へ名称変更	オリンピック・パラリンピック(パリ)				オリンピック・パラリンピック(ロサンゼルス)	
開催手続	開催要望書提出(5/24) 内々定(7/18)			国体実施競技決定 [2021.3月頃] (日本スポーツ協会)		中央競技団体視察 県議会開催決議	開催申請書提出 開催内定		国・日本スポーツ協会視察 開催決定・会期決定		中央競技団体視察		
推進組織等	県	スポーツ振興課	国体準備係設置	業務の増加・細分化に応じ段階的な組織拡充を検討								大会実施本部	
	市町村	市町村連絡会議										市町村競技会実施本部	
	準備委員会組織	群馬県準備委員会 総会 常任委員会 ①:総務企画専門委員会 ②:施設整備専門委員会		③:競技運営専門委員会	④:広報・県民運動専門委員会		⑤:宿泊・医事・衛生専門委員会 ⑥:輸送・交通専門委員会 ⑦:式典専門委員会 ⑧:警備・消防専門委員会 ⑨:募金・企業協賛推進委員会 ⑩:全国障害者スポーツ大会専門委員会		第83回国民体育大会・ 第28回全国障害者スポーツ大会実行委員会			最終総会・解散	
総務企画 ①	全体計画	開催基本方針		開催基本構想				総合計画(2次)		総合計画(3次)			
	会場地選定	会場地市町村選定基本方針 会場地市町村選定基準 県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針	会場地市町村・競技施設の選定(正式競技・特別競技)			会場地選定(公開競技)			会場地選定(デモンストレーションスポーツ)				
	文化プログラム							文化プログラム基本方針	文化プログラム準備(実施計画、実施要綱、事業募集等)			文化プログラム実施	
	行幸啓関係								警備基本方針・基本計画、警備・警衛等実施計画、日程等調整			日程等最終調整	
	総合案内								総合案内基本方針	総合案内準備		総合案内	
施設整備 ②	競技・式典会場	競技施設整備基本方針	競技施設基準(暫定)	競技施設基準		競技施設整備計画	競技施設整備計画の見直し、整備推進						
	情報通信						情報通信基本方針	情報通信基本計画	情報通信システムの整備推進			情報通信本部	
競技運営 ③	競技運営			競技運営基本方針 競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針 競技役員等養成基本計画	公開競技実施基本方針 デモスポ実施基本方針			リハーサル大会開催基準要項	リハーサル大会準備推進		競技役員等編成	総合・競技別プログラム 記録本部 総監督者会議 記録本部	
	競技用具						競技用具整備基本方針	競技用具整備計画	競技用具整備の推進				
広報・県民運動 ④	広報		広報の実施	広報基本方針・広報基本計画	広報の推進・強化(ポスター・リーフレット等各種広報媒体、ホームページ、広報誌等)							全国報道者会議 報道本部	
	県民運動				県民運動基本方針	県民運動基本計画	県民運動・県民参加の推進、ボランティアの募集・養成等						
宿泊・衛生 ⑤	宿泊					宿泊基本方針 宿泊基礎調査	宿泊基本計画 宿泊施設実態調査	配宿計画・調整等			宿泊料金決定 宿泊要項	宿泊本部	
	医事・衛生					医事・衛生基本方針	医事・衛生基本計画	医療救護、食品衛生対策、環境衛生対策、防疫対策、馬事衛生対策等の実施等					救護本部 馬事衛生対策本部
輸送・交通 ⑥	輸送・交通					輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画 輸送交通基礎調査	輸送・交通業務指針	輸送・交通要項、交通対策計画			輸送本部	
式典 ⑦	式典					式典基本方針	式典基本構想	式典基本計画	式典準備の推進				
警備・消防 ⑧	警備・消防						警備・消防・防災 基本方針・基本計画	関係機関との協力体制の整備・調整					警備本部 消防・防災本部
募金 ⑨	募金・協賛						募金・企業協賛 基本方針・基本計画・要項	募金・企業協賛の推進					
全国障害者スポーツ大会 ⑩			各専門委員会において国体と連動し準備			会場地市町村・競技施設の選定(正式競技)			準備推進(競技役員養成、ボランティア養成、競技用具の整備等)				
							会場地市町村・競技施設の選定(オープン競技)						

リハーサル大会

第 8 3 回国民体育大会開催・第 2 8 回全国障害者スポーツ大会

## 第 83 回国民体育大会「県及び会場地市町村の業務分担・経費負担細目」の策定について

### 1. 策定の目的

県と会場地市町村との業務分担及び経費負担の区分を整理し、大会主催者である県と、各競技会を担う会場地市町村との役割を明確化し、準備を円滑に進める。

### 2. 策定の根拠

第83回国民体育大会 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針第3項

#### 3 業務分担、経費負担の細目

県及び会場地市町村の業務分担及び経費負担の細目については、別に定める。

### 3. 策定の流れ

- ・総務企画専門委員会・・・審議・承認
- ・常任委員会・・・審議・決定
- ・総会・・・報告

### 4. 策定スケジュール（予定）

期 日	会 議 等	内 容
H31. 3. 25	第 2 回総務企画専門委員会	意見交換、細目素案説明
4 月～	市町村連絡会議等	各市町村あて素案説明
6 月～	第 3 回総務企画専門委員会	細目（案）の審議・承認
	第 2 回常任委員会	細目（案）の審議・決定
	第 2 回総会	報告

## 5. (参考) 先催県の項目例

大項目	中項目	小項目
1 総務企画	(1) 総務関係	総合計画、準備（実行）委員会、会場地選定、実施本部、 文部科学省・公益財団法人日本スポーツ協会・中央競技団体等との連絡調整、 県内関係機関・団体等に対する協力要請、大会役員等、招待者等、参加章等、服飾、報告書等、開催申請、各種全国会議、自衛隊協力要請等
	(2) 財務関係	予算編成等、国体募金・企業協賛、 入場料・入場券、プログラム販売、売店、 標章等
	(3) 文化プログラム関係	文化プログラム
	(4) 行幸啓関係	行幸啓
	(5) 歓迎・案内関係	接伴・接遇、歓迎装飾、 観光紹介等、資料袋
2 施設整備	(1) 施設関係	競技施設等、駐車場、道路等、 施設概要、会場管理
	(2) 情報通信関係	情報通信計画、情報通信施設の架設・運営、 臨時郵便局等の開設
3 競技運営		実施要項等、参加申込、競技運営、 競技役員等、プログラム、競技記録、 総合成績、表彰状等、競技別リハーサル大会、 公開競技、デモンストラーションスポーツ、 競技用具等
4 広報・県民運動	(1) 広報関係	広報活動、報道対応、記録映像等、記念行事
	(2) 県民運動関係	県民運動、ボランティア
5 式典		開・閉会式等、式典演技、式典音楽、式典放送、 大会旗・炬火リレー
6 宿泊・衛生	(1) 宿泊関係	宿泊施設等実態調査、宿泊・配宿計画等、 宿泊指導等、民泊、 標準献立、国体弁当、宿泊申込
	(2) 衛生関係	医事衛生、医療救護、食品衛生、環境衛生、 予防・防疫、馬事衛生、環境保全
7 輸送・交通		輸送計画、大会参加者等輸送、 配車・車両借上げ等、 輸送サービス等、駐車場管理、 交通計画・交通規制
8 警備・消防		警備、消防防災

## 第83回国民体育大会 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針

第83回国民体育大会の開催にあたり、県及び会場地市町村は、次の基本方針に基づき業務を分担し、経費を負担するものとする。

### 1 県の業務と負担する経費

- (1) 全県的な業務推進の基本となる計画の策定並びに当該計画の実施及び推進に必要な総合調整、連絡及び指導に関する業務を行い、経費を負担する。
- (2) 開・閉会式の実施及び大会実施本部の運営等、全県的・総合的な大会の準備・運営に関する業務を行い、経費を負担する。
- (3) 競技会場及び練習会場となる県有施設・設備の整備に関する業務を行い、経費を負担する。

### 2 会場地市町村の業務と負担する経費

- (1) 競技会の会場地として必要な業務の計画策定並びに当該計画の実施及び推進に必要な調査、連絡及び調整に関する業務を行い、経費を負担する。
- (2) 競技会の表彰式の実施及び競技会実施本部の運営等、競技会実施の準備・運営に関する業務を行い、経費を負担する。
- (3) 競技会場及び練習会場となる市町村有施設・設備の整備に関する業務を行い、経費を負担する。

### 3 業務分担、経費負担の細目

県及び会場地市町村の業務分担及び経費負担の細目については、別に定める。

## 第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想の策定について ※一部修正

### 1 策定趣旨

第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会開催基本方針（平成30年3月20日第1回総会決定）に基づき、両大会の目標及びその実現に向けた具体的な取り組みを明確にし、開催準備を円滑に推進するため、「第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会開催基本構想」（以下、「開催基本構想」という。）を策定する。

※(参考)2028年の「第83回国民体育大会」は、スポーツ基本法改正(H35.1.1施行)に伴い、「第83回国民スポーツ大会」に名称変更となる。

### 2 策定の進め方

- (1) 総務企画専門委員会において、開催基本構想素案を作成する。
- (2) 開催基本構想素案について、常任委員会で審議後、市町村、競技団体等総会委員への意見照会、パブリックコメントの実施等により、広く意見を求める。
- (3) 県民等から寄せられた意見等を踏まえた開催基本構想案を、再度総務企画専門委員会及び常任委員会で審議し、総会で決定する。

### 3 策定スケジュール（予定）

期 日	会議等	内 容
H30. 8. 6	第1回総務企画専門委員会	策定スケジュール等の審議
H31. 3. 25	第2回総務企画専門委員会	開催基本構想の構成(素案)の協議
4月～ 6月～	総務企画専門委員会意見照会(書面)	構成(素案)調整
	第3回総務企画専門委員会	開催基本構想(素案)の協議
	第2回常任委員会・総会	策定状況の報告
	第4回総務企画専門委員会	開催基本構想(素案)の協議
2020年度	意見照会の実施（市町村、競技団体等準備委員関係）	
	第3回常任委員会・総会	開催基本構想(素案)の審議・報告
	総務企画専門委員会	開催基本構想(案)の審議
2021年度	パブリックコメントの実施	
	第4回常任委員会	開催基本構想(案)の審議
	第4回総会	開催基本構想の決定

○修正内容について

[現行]

3 策定スケジュール（予定）

期 日	会議等	内 容
H30.8.6	第1回総務企画専門委員会	策定スケジュール等の審議
9～10月	総務企画専門委員会委員あて書面照会	開催基本構想(構成案)の審議・作成
H31.2月	第2回総務企画専門委員会	開催基本構想(素案)の審議
3月 ～	第2回常任委員会	同上
	第2回総会	策定状況の報告
6月 ～	意見照会の実施（市町村、競技団体等準備委員関係）	
	総務企画専門委員会	開催基本構想(素案)の審議
9月 ～	パブリックコメントの実施	
	総務企画専門委員会	開催基本構想(案)の審議
H32年度 ～	※H32年度以降も必要に応じ専門委員会で審議	
	常任委員会	開催基本構想(案)の審議
	総会	開催基本構想の決定

[修正案]

3 策定スケジュール（予定）

期 日	会議等	内 容
H30.8.6	第1回総務企画専門委員会	策定スケジュール等の審議
H31.3.25	第2回総務企画専門委員会	開催基本構想の構成(素案)の協議
4月～ 6月～	総務企画専門委員会意見照会(書面)	構成(素案)調整
	第3回総務企画専門委員会	開催基本構想(素案)の協議
	第2回常任委員会・総会	策定状況の報告
	第4回総務企画専門委員会	開催基本構想(素案)の協議
2020年度	意見照会の実施（市町村、競技団体等準備委員関係）	
	第3回常任委員会・総会	開催基本構想(素案)の審議・報告
	総務企画専門委員会	開催基本構想(案)の審議
2021年度	パブリックコメントの実施	
	第4回常任委員会	開催基本構想(案)の審議
	第4回総会	開催基本構想の決定

## 第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針

### 1 基本方針

第83回国民体育大会及び第28回全国障害者スポーツ大会は、県民一人ひとりが、群馬の限らない可能性を再認識し、誇りと自信を持って大会に参画する、県民総参加による群馬らしい大会を目指します。

なお、大会の運営に当たっては、簡素・効率化を図りつつ安全・安心を心掛けるとともに、両大会の開催を契機として、地域の活性化やスポーツを通じた健康づくり、共生社会の推進、本県の魅力発信を行うなど、全ての県民に夢や希望を与え、群馬の明るい未来の創生に繋がります。

### 2 実施目標

#### (1) 人と地域が輝く「ふるさと群馬」の実現

県民一人ひとりが「する」「みる」「支える」という様々な立場で両大会に参画することにより、スポーツへの関心、郷土意識及び一体感を高め、全ての市町村におけるまちづくりや地域活性化に繋げる大会とします。

#### (2) スポーツの推進

県民がスポーツを通じた健康づくりに取り組み、スポーツの裾野拡大を図るとともに、指導者の養成や選手の育成等による競技力の向上及び環境整備等を行い、群馬のスポーツの推進に繋げる大会とします。

#### (3) 共生社会の実現

年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらずスポーツを楽しむことのできる環境を広げていくことにより、お互いを理解し、共に支え合う社会の実現に繋げる大会とします。

#### (4) 創意工夫による取り組み

既存の施設を有効に活用するなど簡素・効率化を図りつつ、参加者の安全・安心を確保した運営を行うとともに、地域や企業の参加及び連携を深める取り組みを行うなど、創意工夫を凝らした大会とします。

#### (5) 群馬の魅力を再認識し、全国・世界へ発信

群馬の豊富な観光資源、歴史遺産、食文化、自然環境等、その魅力を県民が再認識し、群馬の魅力を強く発信するとともに、全国から来県する方々に温かいおもてなしの心を存分に発揮する大会とします。

## 第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想 構成(素案)

## ○ 序章

1	策定の趣旨・目的		
2	開催基本構想の位置づけ		
3	大会概要	1 国民体育大会について	※大会の目的、概要 ※変遷(あゆみ、改革、あかぎ国体・大会等)
		2 全国障害者スポーツ大会について	
	県の特長	3 群馬県について	※県の特長、スポーツ環境等
	開催意義	4 群馬県における両大会開催の意義	・「群馬らしい」大会を目指す。 ・全ての県民に夢や希望を与え、群馬の明るい未来の創生に繋げる。

## 開催基本方針(基本方針)

第83回国民体育大会及び第28回全国障害者スポーツ大会は、県民一人ひとりが、群馬の限りない可能性を再認識し、誇りと自信を持って大会に参画する、県民総参加による群馬らしい大会を目指します。

なお、大会の運営に当たっては、簡素・効率化を図りつつ安全・安心を心掛けるとともに、両大会の開催を契機として、地域の活性化やスポーツを通じた健康づくり、共生社会の推進、本県の魅力発信を行うなど、全ての県民に夢や希望を与え、群馬の明るい未来の創生に繋がります。

## ○ 本論

4	目標 (開催基本方針 実施目標)	項目例	(具体的な取組の例)
(1)	<b>人と地域が輝く 「ふるさと群馬」の実現</b>  県民一人ひとりが「する」「みる」「支える」という様々な立場で両大会に参画することにより、スポーツへの関心、郷土意識及び一体感を高め、全ての市町村におけるまちづくりや地域活性化に繋げる大会とします。	・県民総参加	「みる」「支える」等、多様な関わりを創出し、県民総参加による大会に繋げる。  ・県民ボランティアの活躍 ・参加選手の応援の充実 ・地元選手の支援
		・まちづくり・地域活性化	全市町村の特色を生かした大会を行うことにより、地域活性化に繋げる。  ・市町村の特色を生かした競技の開催や支援 ・地域全体が楽しめる企画づくり ・大会開催を通じた地域の絆づくり
(2)	<b>スポーツの推進</b>  県民がスポーツを通じた健康づくりに取り組み、スポーツの裾野拡大を図るとともに、指導者の養成や選手の育成等による競技力の向上及び環境整備等を行い、群馬のスポーツの推進に繋げる大会とします。	・スポーツの裾野拡大	地域で継続的にスポーツに親しむことのできる契機となる大会とする。  ・多様なスポーツの普及啓発 ・スポーツに親しめる環境整備
		・競技力向上	本県から世界に羽ばたく人材を生み出す契機となる大会とする。  ・指導者の養成・確保 ・各世代の発掘・育成・強化



(3) <b>共生社会の実現</b>	年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらずスポーツを楽しむことのできる環境を広げていくことにより、お互いを理解し、共に支え合う社会の実現に繋げる大会とします。	・誰もがスポーツを楽しむ機会の創出	年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらずスポーツを楽しむ、交流する契機となる大会とする。  ・生涯スポーツの推進・交流 ・障害者スポーツの推進・交流
		・サポート体制の整備	誰もがスポーツを安心して楽しむことのできる環境整備に繋がる大会とする。  ・ユニバーサルデザイン ・ボランティア活動の推進
(4) <b>創意工夫による取り組み</b>	既存の施設を有効に活用するなど簡素・効率化を図りつつ、参加者の安全・安心を確保した運営を行うとともに、地域や企業の参加及び連携を深める取り組みを行うなど、創意工夫を凝らした大会とします。	・簡素・効率化	既存施設の有効活用や、大会運営の簡素・効率化を図り、負担の軽減に努める大会とする。  ・既存施設の有効活用 ・大会運営の簡素・効率化 ・計画的な業務推進
		・安全・安心	安全・安心を確保した運営を図り、参加者の快適な競技、観戦等に配慮した大会とする。  ・安全・安心を確保した大会運営 ・健康で快適な大会運営
		・地域や民間との連携	地域や企業の参加及び連携を深める取組を推進する大会とする。  ・地域団体との連携 ・民間企業との連携
(5) <b>群馬の魅力を再認識し、全国・世界へ発信</b>	群馬の豊富な観光資源、歴史遺産、食文化、自然環境等、その魅力を県民が再認識し、群馬の魅力を強く発信するとともに、全国から来県する方々に温かいおもてなしの心を存分に発揮する大会とします。	・魅力の再認識・情報発信	群馬の豊富な観光資源、歴史遺産、食文化、自然環境等、その魅力を再認識する契機となる大会とする。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源のほりおこし</li> <li>・新たな地域の魅力の創出</li> <li>・群馬とスポーツ</li> </ul> } 全国・世界へアピール
		・おもてなし	全国から来県する方々に温かいおもてなしの心を存分に発揮する大会とする。  ・おもてなし意識の向上 ・交流の場の創出

## ○ 終章

5	大会開催後の姿	※両大会のレガシーを生かした群馬づくり
---	---------	---------------------